

広
報

かわづ

December

12

2022年 No.604



町を駆ける鉄人たち

特集 第7回河津フラワートライアスロン大会

Topics 1 町表彰式

Topics 2 さまざまな分野で輝いた人



2022.10.30 Sun
Kawazu
Flower
Triathlon 7th



—特集— 第7回河津フラワートライアスロン大会

鉄人たちの熱いレース

第7回河津フラワートライアスロン大会が10月30日、河津浜海岸をスタートし開催されました。全国各地から359人の鉄人たちが集まり、シーズン最後の大会で熱いレースを繰り広げました。





01

SWIM 1.5 km



1_ スタートの合図とともに勢よく駆け出す選手 2_ 朝6時、朝焼けの中スイム会場の準備が始まる 3_ スイム会場に向かって続々と選手が集まりだす 4_ 会場に続くレッドカーペット 5_ レース前の試泳、スタッフに海の様子を確認する選手 6_ 海で冷えた体を温める温泉サービスに「いい湯加減!」と笑顔がこぼれる 7_ 高い波をものともせず海に飛び込む選手たち 8_ レース開始を待ちわびる観客 9_ 渋谷区トライアスロン連合会長でレースディレクターの伊藤たけしさん 10_ 選手にエールを送る岸重宏町長 11_ フラグを持って応援 12_ エイドステーション(給水所)で水分補給 13_ スイムを終えた選手 14_ 仲間とともにカメラにポーズ 15_ バイクトランジションに向かう



当日は晴天に恵まれ、選手らは午前9時30分に河津浜海岸のスイムからスタート。スイムは強風で河津浜の波が高かったため、本来の3周1.5kmから一周0.5kmに縮小されました。続くバイクは河津駅から峰大橋交差点までの周回コース40kmを疾走。最後は河津川沿い10kmを走りぬけ、観光交流館のフィニッシュを目指しました。

10月末でも20℃程度の海水温が保たれている河津での大会は、国内のトライアスロンシーズンを締めくくる最後の大会です。

シーズン最後の大会

一般の人も参加しやすいコースに設定された五輪公式距離スイム1.5km・バイク(自転車)40km・ラン10km、合計51.5kmを競います。

一般の人も参加しやすいコースに設定された五輪公式距離スイム1.5km・バイク(自転車)40km・ラン10km、合計51.5kmを競います。

鉄人359人が挑戦

Voice ~ゼッケンNo.410 下田消防署チーム~



選手: 谷康平さん(スイム)、齋藤芳彦さん(バイク)、田中泰斗さん(ラン)
監督: 島崎衛さん

地元から唯一出場、下田消防署チームも大健闘!

3年振りに行われたトライアスロン大会に参加させていただきました。入賞はできませんでしたが、天気にも恵まれ、みんな元気良く頑張りました。

来年こそは上位入賞を目指します!

【成績】リレーの部 9位/24チーム



▲バイクで快走する下田消防署チームの齋藤選手



2



3



1



6



5



4



7

02

BIKE 40km

1_大堰付近の町道をバイクで疾走する選手 2_町内の少年野球チーム河津ジャガーズも沿道から声援を送る 3_沿道の応援にサインを送る選手 4_大堰の折り返し地点を通過する選手 5_選手が間近に見れる折り返し地点は迫力満点(笹原) 6_普段見慣れた街並みがレース会場に一変 7_バイクを終えランに向かう選手たち

町内各所で声援

競技が始まると、普段は見慣れた街並みが一変します。いつもは車が走る道路を疾走するバイク(自転車)や住宅街を走り抜ける選手――。

町内の至る所で、応援フラッグを持って応援する人から大きな声で「がんばって!」と声援が送られていました。険しい表情をしていた選手も声援を受けると笑顔で手を振り、爽やかに走り抜けました。

ボランティア300人

近年、愛好者人口が増えたトライアスロン。大会開催には、広大な開催エリアと海や道路の許可、多くの人の力が必要です。

今年もコース沿線住民のみなさんの協力、ボランティアを含めたくさんの方の力が集結しました。

前日の受付や準備、当日の運営のため一般ボランティアをはじめ、河津中学校、県立稲取高校、町スポーツ協会、根岸会、ふるさと案内人、上地区婦人会、町商工会、郵便局、東京電力、三島信用金庫、

～ Volunteer Staff ボランティアスタッフ ～



▲みかんやわさび漬けなどのお土産を渡す商工会女性部



▲河津町商工会のわさび肉まん



▲おかわりをする人も続出した下峰地区根岸会の猪鍋



▲前日の受付の東京電力や静岡銀行、三島信用金庫、郵便局のみなさん



03

RUN 10km



04

FINISH



静岡銀行など約300人に協力いただきました。

8_河津川沿いのトリムコースを走り抜ける選手 9_笹原の住宅街を走る 10_大きな声で選手に声援を送る男性 11_エイドステーション(給水所)で飲み物を受け取る選手 12_荒倉橋手前のラン折り返し 13_田中の豊泉橋を通過する選手を応援する町民 14_笑顔でゴールする選手をガッセル君もお出迎え 15_男子総合の部入賞者のみなさん 16_元気にゴールしたおじいちゃんの完走を喜ぶ家族 17_みんなに迎えられ無事ゴールした最終ランナー 18_総合優勝した外山高広選手、試合後家族と一緒に 19_女子総合の部入賞者のみなさん 20_表彰式後にはスポーツグッズや河津の特産品などが当たるじゃんけん大会を開催



▲河津中学校の中学生ボランティア



▲ゴールした選手のアンクルバンド(計測器)を外す高校生



▲フィニッシュタオルの受け渡しをする中学生



▲お弁当の受け渡しをする役場職員ボランティア

町の発展などに尽力した 皆さんの功績をたたえて

11月3日文化の日、町表彰式が役場議場で行われ長年にわたり町の振興発展などに貢献した個人や団体に表彰状や感謝状などが贈られました。



式後の記念撮影



謝辞を述べる萩原さん（壇上）と受賞者のみなさん

1

河津町表彰式

長年にわたり町の振興発展に貢献した2人と1団体に岸重宏町長が「それぞれの分野において献身的な活動を続けられ、町政に多大な貢献をされていた皆さんに敬意と感謝の意を表すとともに、これからは町の一層の発展のために協力と活躍を期待します」と式辞を述べ、表彰状や感謝状、記念品が贈られました。

受賞者を代表して萩原清司さんが「これまで続けてこられたのは、一緒に活動してきた先輩や同僚のおかげで感謝しています。これからも少しでも自分を必要と思ってくれ

る人がいれば、寄り添う活動をしていきたいです」と謝辞を述べました。

功労表彰
萩原 清司さん（75歳）
Ⅱ 谷津 Ⅱ

平成12年から町保護司として22年間にわたり、犯罪をした人の更生を助ける保護司活動に尽力し、公共の福祉に貢献されました。

庄内 邦久さん（71歳）
Ⅱ 下田市田牛 Ⅱ

平成2年から河津町学校歯科医師として32年間にわたり、児童や園児の口腔衛生に尽力し、保健衛生の向上に貢献されました。

感謝状
文芸かわづ編集委員会

20年以上にわたり「文芸かわづ」を発刊し、町民の文化作品の場を提供するなど町の文化振興に寄与され、地域の魅力発信に貢献されました。現在活動している長崎良夫編集委員長ら5人の委員のなかでも、村松秀代さんと寺林芳子さんの2人は発足当初から編集・発刊に携わり続けています。

秋の叙勲、文化芸術活動、 さまざまな分野で輝いた人たち

秋の叙勲で元河津町消防団団長の稲葉壽英さんが瑞宝単光章を受賞されました。また、かわづ花の会田中地区花壇が今年の全国花のまちづくりコンクールで入選をしました。町民文化祭では、町内で活躍する団体や個人が1年間の文化芸術活動の集大成を披露しました。それぞれの分野で輝いた皆さんを紹介します。

1

秋の叙勲

栄えある瑞宝単光章
（ずいほうたんこうしょう）



瑞宝単光章を受賞した稲葉さん

瑞宝単光章（消防功労）
稲葉 壽英さん（65歳）

元河津町消防団団長 Ⅱ 浜Ⅱ

瑞宝章は、国家及び公共に対し功労のある人、公務などに長年にわたり従事し、功績を挙げた人に授与されます。

稲葉壽英さんは、昭和52年の町消防団入団以来39年にわたって多くの災害出動で活躍し、団長就任以降は団員の指揮や技術向上にも尽力されるなどの功績が認められました。

11月4日、県庁で伝達式が行われ、同月11日には稲葉さんが役場を訪れ岸重宏町長に受賞報告をしました。

稲葉さんは、これまでの災害や消防活動を振り返り「受賞は自分一人のものではなく、消防団としていただいたもの。団に育ててもらったことを感謝しています」と感謝を述べました。

2

全国花のまちづくり コンクール

第32回全国花のまちづくりコンクール団体部門「花のまちづくり努力賞年輪賞」

かわづ花の会田中地区花壇

年輪賞は、地域の花のまちづくりに協力や参画している活動に選賞される努力賞のなかでも、継続年数20年以上で



受賞報告に訪れた細川会長と田中地区班員



田中花壇



これまでの活動を振り返る稲葉さん（左）

20年以上の活動実る

3

町民文化祭

文化芸術活動
1年間の集大成

平均年齢70歳以上の団体や個人を対象に贈られる賞で、今年は全国から422件の応募のあった団体部門のうち、田中地区を含む2団体が受賞しました。

11月9日には、かわづ花の会の細川平吉会長と田中地区班員が木村吉弘副町長に受賞を報告しました。

町文化協会主催の第41回河津町民文化祭展示の部が11月3日～6日、舞台の部が同月12日に河津バガテル公園で行われ、子どもから大人までがこの1年間の文化芸術活動の集大成を披露しました。



フラダンスを披露する子どもたち



広場に響く美しいオカリナの音色



ペーパークラフトの手づくり体験を楽しむ来場客（展示の部）



新体操の技を披露する高校生

まちの 出来事



大会に挑む選手ら



団旗を受け取る榎本団長



選手を代表し決意を述べる稲葉選手

大会に向けチーム一丸

市町対抗駅伝競走大会河津町選手団

12月3日に開催される第23回静岡県市町対抗駅伝競走大会河津町選手団結団式が10月29日、河津中学校グラウンドで行われました。選手を代表し、河津中3年の稲葉昊希さん＝笹原＝が「町の代表として、日頃の成果を発揮し、一つでも良い順位が取れるようにチーム一丸となって頑張ります」と決意を述べました。その後、岸重宏町長から榎本良治団長に団旗が授与され、岸町長は「コロナ禍で苦労もあるが、一人一人が目標を達成すれば必ず良い結果に結びつく」と激励しました。

平和への祈りを胸に

令和4年度戦没者招魂祭

令和4年度戦没者招魂祭が10月21日、ふれあいホールで行われ、遺族や岸重宏町長をはじめとする関係者27人が参列しました。式では、全員で戦没者の霊に対し黙とうを捧げた後、祭主の祝詞に続き岸町長や遺族会の山本和之会長らが慰霊の言葉と玉串を奉納しました。参列者は、戦争で尊い犠牲になられた方々に追悼の意を表し、不戦と平和を祈りました。



平和を祈る参列者ら

丁寧に草刈りや草取り作業に励む会員



会員30人が草刈りに励む

シルバー人材「シルバーの日」奉仕活動

河津町シルバー人材センター(谷福司理事長)の奉仕活動が10月12日、田中のハジツ山公園で行われました。例年、10月第3土曜日の『シルバーの日』に合わせて活動を行っていましたが、新型コロナの影響で2年ぶりの活動となりました。会員約30人が参加し、男性は草刈り機での草刈り、女性は草取りや落ち葉拾いなどの清掃に励みました。

白馬文化祭3年ぶりの出店

姉妹都市 白馬村文化祭

第52回白馬村文化祭が、11月4日から6日にかけて長野県白馬村ウイング21で行われました。河津町は5日に参加し、アジや金目鯛、イカなどの干物、みかんや海藻の加工品などの販売をしました。新型コロナの影響で3年ぶりの出店でしたが「河津の干物は美味しいから楽しみにしていた」と話す人も多く午前中にはほとんどの商品が完売しました。



干物を買求める白馬村の来場客

かごをねらって一生懸命に球を投げる園児



たくさんの声援を受けて

わかば保育園 運動会

わかば保育園運動会が10月23日、沢田公民館広場で行われ、1歳児から5歳児までの園児がかけっこや玉入れ、お遊戯など練習の成果を披露しました。

玉入れでは、かごをねらって一生懸命に球を投げるかわいい姿が見られました。かけっこでは、ゴールをめざして元気いっぱい走る園児たちに、グラウンドで見守る保護者からたくさんの声援が送られました。

元気に運転を続けるため

健康安全運転講座

健康安全運転講座が11月11日、ふれあいホールで行われ60代から80代の町民17人が参加しました。

県理学療法士会やJAF、ダイハツ沼津販売㈱を講師に、運転に関わる認知・体力測定と運動指導、車の死角確認、予防安全機能車の試乗などをしました。参加者は「体力測定や車の死角を確認して危険がわかった。これから気をつけて運転したい」と安全運転の意識を高めました。



運転席に座って車の死角を確認する参加者

発表した8人のみなさん



8人が思いや主張を発表

第21回河津町青少年の主張大会

第21回河津町青少年の主張大会が11月3日、ふれあいホールで行われ、小学生から高校生までの8人が思いや主張を発表しました。〈発表者〉土屋真緒さん(東小6年)、鳥澤蒼生さん(南小6年)、大塩結愛さん(西小6年)、杉井太河さん(河津中2年)、長谷奏介さん(河津中2年)、飯田海依さん(河津中3年)、渡邊有汰琉さん(稲取高1年)、金指亜佳音さん(下田高1年)



保健室で菜美香先生と一緒に

MY 77 DREAM



夢に向かって

五十嵐 紗羅さん

いがらし さら
下佐ヶ野
西小学校6年

私の夢は養護教諭になることです。
幼稚園から小学校高学年までの夢は、ずっと幼稚園の先生でした。幼稚園のときの先生方が優しく、とても大好きで、そんな先生方のようにになりたいと思っていましたからです。そして今、その夢に加えて、誰かの助けになれるような人になりたいと思うようになりました。

だから、けがをした友達がいいたら、率先して気付いて声をかけようと心がけています。養護教諭は、命に関わる仕事です。臨機応変な対応が求められるからこそ、自分で考えて、進んで行動できるようになりたいです。

うになつていきたいです。また、友達や下級生に対して、男女問わず平等に接することが大切だと感じています。仲間と生活する中で、思いやりをもつて接したいです。

私は、西小学校の増田菜美香先生のような養護教諭を目指しています。菜美香先生は、怪我をした子の手当をしたり、ときには悩みを聞いてあげたりして、「学校の安心できる場所」をつくってくれています。

私も菜美香先生のように、誰にでも接し方を変えずに、子どもの気持ちに寄りそつてこのできる養護教諭になりたいです。



▲ぐるぐるブックス読書会

河津町地域おこし協力隊通信

好奇心のたね vol.5



えの はら
榎原 なつ美 (33歳)

埼玉県川口市出身。2021年4月、河津町地域おこし協力隊に着任。ワーキングスペースバガテルの運営を担当。

<https://www.facebook.com/kawazu.kyouryokutai/>

ぐるぐるブックス Guru Guru Books 読書会

河津に住み2回目の冬になります。伊豆は温かいと聞いていたので道路の凍結なんて無縁の話だと思っていたのですが、初めての冬に天城や少し標高が高い場所が凍ると聞いて驚きました。運転が苦手な私はスリップが怖いので、冬は動き回らず読みたい本を読んで過ごそうと思います。

2月にワーキングスペースバガテルで始めた「ぐるぐるブックス読書会」。月1～2回行い、先月で13回目になりました。毎回参加者が魅力的な本を紹介して下さるので気になる本が増え続けています。

本を読まない子どもだった私

は今になって絵本や児童書を読み返しています。視点や物語の解釈が自分の今までの経験を通して変化していることに気付くのも面白いです。また、「読書会で人に本について話す」という目的で読むと自分の感性の新たな一面が知れて自分自身を見つめる時間にもなります。

読書会で自分の感じたことを共有すると、他者の感想も返ってきて毎回盛り上がります。私にとって毎月の読書会は大切な時間です。気になった人は参加をお待ちしています！詳しくは毎月第1週回覧板の読書会チラシまたは榎原(TEL080-2627-1830)までお問い合わせ下さい。

12 図書館カレンダー December 2022

1 THU	はらべこあおむしの会
2 FRI	
3 SAT	
4 SUN	
5 MON	休館日
6 TUE	
7 WED	時間のはこぶね
8 THU	はらべこあおむしの会
9 FRI	
10 SAT	第13回文化の家読書会1回目 10時～
11 SUN	
12 MON	休館日
13 TUE	
14 WED	時間のはこぶね
15 THU	
16 FRI	
17 SAT	第13回文化の家読書会2回目 10時～
18 SUN	かわづっこ子育てねっと「クリスマスおたのしみ会」
19 MON	休館日
20 TUE	
21 WED	時間のはこぶね
22 THU	はらべこあおむしの会/ブックスタート13時～
23 FRI	
24 SAT	
25 SUN	
26 MON	休館日
27 TUE	
28 WED	休館日(館内整理)
29 THU	休館日(1/3～)
30 FRI	
31 SAT	



おはなし会

- ◆小学生向け…時間のはこぶね(毎週水曜15:50～16:20)
- ◆乳幼児向け…はらべこあおむしの会(毎週木曜)
0～2歳児向け 10:10～10:30
2・3歳児向け 10:40～11:00
- ◆幼児向け…幼児のおはなし会(第3土曜10:00～10:30)

町立文化の家

図書館だより

<https://www.town.kawazu.shizuoka.jp/library/>
 〈開館時間〉 9時～18時 土・日は17時まで
 〈休館日〉 月曜・祝日・月末日
 岡町立文化の家図書館 ☎34-1115

No.236



★図書館日記★

プログラミング教室

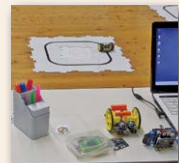


▲ 11/13



▲ 11/20

11月13日(日)と20日(日)に、呉羽宇城さん(大堰)を講師に迎え、小学校中学年から中学生を対象としたプログラミング教室を開催しました。プログラミングの仕組みについて先生に解説をしてもらい、micro:bit(マイクロビット)を使用してロボットカーの自動運転をするプログラミングを体験しました。



▲ ロボットカー

★お知らせ★

かわづっこ子育てねっと「クリスマスおたのしみ会」

入れ替え制で行います。(随時受付)

と き 12月18日(日) 10時～11時30分

ところ 文化の家生涯学習室 ※申し込み不要



創作遊び、
プレゼントも
あるよ!

図書館利用者が選ぶ一冊
石橋ひろみさん(上峰、60代)
「とうさんかあさん」
(ながのひでこ作 石風社)
河津町の講演会にもいらして
下さった事のある長野ヒデ子さ
んのデビュー作。46年前、手
り絵本のこの本を草書房の福元
満治さんが「ぜひ出版を」と
世に出た作品。「幸福感とお
らかな世界を持つ」と内
田麟太郎さんとスズキコージ
さんも大絶賛!!長野さんの作品に
は「おかあさんがおかあさん
になった日」「おとうさんがお
とうさんになった日」など命の
つながりの絵本がたくさんあり
ます。どうぞ手に取っ
て読んでください
ね。



とうさんかあさん

200字のスケッチ vol.20

新着図書案内

ほかにも新着図書があります。
貸出中の場合は予約できます。

書名(一般書)	著者名	出版社	書名(児童書)	著者名	出版社
プチプラで「地震に強い部屋作り」	辻 直美 / 著	扶桑社	コンガガガっち きみのあた の中、ズバリあててやる!の本	ユーフラテス / さく	小学館
なぜ、あの人には何でも話 してしまうのか	山根 洋士 / 著	アスコム	考えると楽しい地図ーその お店は、なぜここに?	今和泉 隆行 / 著	くもん出版
80代で見つけた生きる幸せ	G3sewing / 著	KADOKAWA	忘れもの遊園地	久米 絵美里 / 著	アリス館
NHK「明日をまもるナビ」 富士山噴火の衝撃!	NHK「明日をまもる ナビ」制作班 / 著	宝島社	けいさつのずかん	山田 タクヒロ / 絵	学研プラス
ドラゴンズ・タン	宇佐美まこと / 著	新潮社	サンタさん どこにいるの?	ひらぎ みつえ / 作	ほるぷ出版

今月のテーマ

認知症カフェ 『わさびの花』

福祉介護課 ☎36-3232

かわづで子育て

かわいく

■育児相談

と き 1月10日(火)
10時～11時30分

ところ 保健福祉センター
ふれあいホール

対象者 子育て中の保護者

内 容 身体測定、離乳食や子どもの
食事に関する相談、育児相談、
歯科相談

持ち物 母子健康手帳

■健康相談および母子健康手帳交付

と き 12月19日(月)、1月4日(水)
13時30分～15時30分

ところ 保健福祉センター

持ち物 ・妊娠届出書(病院で配付さ
れた場合は持参)
・個人番号カードまたは通知
カード
・身元の確認ができるもの
(写真付きでない場合は2種
類持参)
・印鑑

■健診事後教室(登録制)

と き 12月20日(火)
①未就園児
10時30分～11時45分

②幼稚園年少以上
14時30分～16時

ところ 保健福祉センター
ふれあいホール

河津町24時間電話健康相談ダイヤル

育児・医療・健康・介護について
専門スタッフが相談に応じます

☎0120-560-655(年中無休)

認知症カフェ「わさびの花」に参加してみませんか?
令和元年6月より開催している、認知症カフェ「わさびの花」をご存知でしょうか?
○認知症カフェ「わさびの花」とは
認知症カフェ「わさびの花」は、河津町でもさまざまな年齢や状況の人が集まって飲み物とお菓子を食べながら話や相談をし、ミニ講話などを通じて認知症への理解が深まる町になってほしいとの思いからオープンしました。
開設当初は浜の「cafeぐりーんペペ」で開催していましたが、現在は、河

津桜観光交流館2階食堂に会場変更して開催しています。参加者は小学生から高齢者まで多年代の人が参加しています。
○開催日時・参加費
開催日 毎月第4水曜日
14時から16時まで(2月を除く)



たくさんの人が集まる認知症カフェ「わさびの花」

参加費 300円(ドリンクとお菓子セット)
午後2時半からミニ講話(認知症予防や音楽鑑賞など)を行っています。ミニ講話の時間以外は、生活相談や介護相談なども受け付けているので、気軽に相談ください。
興味はあるけれど様子が分からないと不安な人は、農協テレビでも放映されているので参考にしてください。参加したいけれど移動手段がないという人は地域包括支援センターまでご相談ください。
皆様の参加をお待ちしています。
福祉介護課 社会福祉士 久澤康徳

2年に1度受診しましょう 子宮頸がん検診

早期発見するために、検診を受診しましょう。

対 象 20歳以上で昨年度子宮頸がん検診を受診していない人

受 診 医療機関(個別検診)

と き 令和5年1月10日(火)～2月28日(火)

ところ 伊豆今井浜病院、康心会伊豆東部病院、
臼井医院、小川クリニック、下田メディカルセンター

負担金 1,700円(70歳以上は無料)

早期発見のために 乳がん検診(マンモグラフィ)

乳がんは早期に発見し治療が開始できれば90%以上が治る病気です。早期発見のために、月に一度のセルフチェックと2年に1度の検診が重要です。

対 象 40歳以上で昨年度乳がん検診を受診していない人

受 診 医療機関(個別検診)

と き 令和5年1月10日(火)～2月28日(火)

ところ 伊豆今井浜病院、下田メディカルセンター

負担金 1,300円(70歳以上は無料)

☎健康増進課 ☎34-1937

町関係者が県へ要望書を提出 伊豆縦貫道早期開通や災害復旧を



川勝知事に要望書を提出する岸町長ら関係者

岸重宏町長は10月24日、遠藤嘉規議長や長谷川延之商工会長、山田和子観光協会会長ら関係者10人とともに県庁を訪問し、川勝平太知事に伊豆縦貫自動車道の早期開通や台風8号による被災箇所での早期復旧整備支援などを要望しました。

8月に発生した台風8号では、河津川の増水によって田中のトリムコース沿いの護岸が約30メートルにわたって削られ一時通行止めとなるなどの被害を受けました。

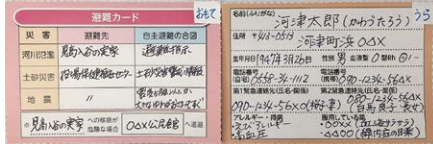
大規模災害に備えて事前に避難行動を確認しよう わたしの避難計画作成ガイド



5地区の避難計画作成ガイド



QRコード



避難カード（見本）

町では、津波浸水区域の5地区（見高浜、浜、笹原、谷津、縄地）の「わたしの避難計画作成ガイド」を作成しました。

これは、今後起こりうる大規模災害に備え一人一人が「いつ、どこに避難するか」を事前に整理するためのもので、質問に沿って答えると、避難カードが完成します。事前に一人一人の避難行動を確認してみましょう。

作成ガイド等は避難訓練時や12月の回覧で各戸配布します。また、津波浸水区域外の地区の人は上のQRコードを読み取って作成できます。

町の教育発展のために 町教育委員に2人を委嘱



新たに教育委員に就任した金指さん

任期満了に伴う町教育委員の任命式が11月14日、町長室で行われ、植松智子さん（2期・再任）と、金指正和さん（湯ケ野）（新任）の2人が就任しました。

岸重宏町長から委嘱書を受け取った植松さんは「委員を経験できることはなかなか無い機会なので2期目も一生懸命頑張りたいです」、金指さんは「初めての経験ですが町の教育のために精一杯頑張ります」と抱負を述べました。

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金 非課税世帯等に緊急支援5万円

電力・ガス・食料品などの価格高騰による負担増をふまえ、住民税非課税世帯などに対して給付金を支給します。給付金を受け取るためには手続きが必要です。

■支給額

1世帯あたり5万円

■対象

次のいずれかにあてはまる世帯
①住民税非課税世帯
世帯全員の令和4年度住民税均等割が非課税の世帯（令和4年9月30日時点で住民登録のある世帯）

②家計急変世帯

令和4年1月から12月までの任意

の1カ月の収入が予期せず減少し「住民税非課税相当」となった世帯

■申請方法

①：対象となる可能性がある世帯に町から確認書が届きます。内容を確認し、返送してください。一部申請が必要な場合があります。

②：申請書に必要な事項を記入し、収入が確認できる書類とともに役場へ提出してください。

■支給開始時期

12月上旬

■申請期限

令和5年1月31日（火）

問 企画調整課

☎（34）1924

今月の納税

固定資産税3期、国民健康保険税8期、後期高齢者医療保険料5期、介護保険料5期
12月26日(月)が納期です。

(固定・国保税) 町民生活課 ☎34-1928、(後期) 健康増進課 ☎34-1937
(介護) 福祉介護課 ☎36-3232

マチイロ
広報かわづ配信中



し尿施設からお知らせ

東河環境センターし尿処理施設では、令和4年度から令和5年度までの2年間、大規模改修工事を実施しています。

工事期間中も施設の運転を継続し、浄化槽汚泥等の受入れをします。ただし、令和5年9月から10月頃まで、水槽防食工事等のため、受入れ制約期間(停止・量制限)を予定しています。

浄化槽清掃を業者に依頼する際は、上記の期間を外して依頼していただくよう、ご協力をお願いします。

町 東河環境センター

☎0557-95-7111

入札参加資格申請

町が発注する建設工事、測量・建設コンサルタント等、物品製造等の令和5・6年度の入札参加資格申請を次のとおり行います。

受付 令和5年1月10日(火)～2月10日(金) ※土日祝を除く

場所 役場 総務課 検査係

方法 持参または郵送(郵送の場合2月10日(金)必着)

期間 令和5年4月1日～令和7年3月31日

要領 町ホームページを参照

書面希望の人は、総務課へお越しください。

町 総務課検査係

☎34-1913

医療従事者の業務従事届

令和4年12月31日現在において就業している医療従事者の皆さん(※医師、歯科医師および薬剤師は全ての有資格者)は、法律により各自の業務従事状況等の届出を行う必要があります。今回から届出がオンライン化されます。期限内の提出にご協力ください。

提出期限 令和5年1月16日(月)

町 県健康福祉部企画政策課・地域振興課
医師・薬剤師…… ☎054-221-2363
保健師・看護師… ☎054-221-3762

スマホで確定申告

2月16日から確定申告が始まります。スマートフォンやタブレット、パソコンから所得税の確定申告書が作成できます。感染症対策のため、スマートフォンなどからの電子申告(e-Tax)にご協力ください。郵送での提出もできます。

国税庁ホームページへアクセス

マイナンバーカードとマイナンバーカード対応のスマートフォンを持っている人は、作成した申請書をe-Taxで送信できます。マイナンバーカードを持っていない人やスマートフォンがマイナンバーに対応していない人も事前に税務署でID・パスワードを取得したうえで、e-Taxで送信できます。詳しくは、国税庁ホームページをご覧ください。

ID・パスワードの発行は、税務署で随時受け付けています。(顔写真付きの本人確認書類を持参)

町 下田税務署 ☎22-0185



スマホから確定申告を
してみよう

年末特別警戒実施

県内の各警察署では12月15日から12月31日までの間、年末特別警戒を実施します。

年末年始は外出する機会も多くなります。玄関や窓のカギかけを徹底し、センサーライトや防犯じりなどの防犯グッズを活用しましょう。

また、下田警察署管内ではオレオレ詐欺の電話が増加しています。息子や孫などを名乗り「会社でトラブルを起こした。今すぐお金を用意して。代わりの者が取りに行く」などという電話は詐欺です。気をつけましょう。留守番電話設定などの電話機対策を徹底しましょう。

町 下田警察署管内防犯協会

☎27-2766

住民基本台帳閲覧者の公表

住民基本台帳法第11条の規定に基づき、令和3年11月1日から令和4年10月31日までの河津町住民基本台帳の閲覧者を次のとおり公表します。

国または地方公共団体による閲覧

(住民基本台帳法第11条第3項)

0件

個人または法人による閲覧

(住民基本台帳法第11条の2第12項)

0件

町 町民生活課窓口係

☎34-1932

募集

民間広報協力員を募集

町では、町民の皆さんに親しまれる「広報かわづ」の紙面づくりを行うため、民間広報協力員を募集しています。より良い「広報かわづ」を一緒に作りませんか。

任期 令和5年4月～令和7年3月(2年間)

内容 取材や原稿作成など。

月1回の定例会で広報紙の反省、企画などを検討。

募集 2人程度

謝金 1会議、1取材につき3,000円

締切 2月10日(金)まで

町・申込先 企画調整課秘書交流係

☎34-1924

放送大学入学生を募集

放送大学は、令和5年4月入学生を募集しています。10代から90代の幅広い世代の学生が「学びを楽しみたい」「大学を卒業したい」などさまざまな目的で学んでいます。心理学や福祉、経済、文学など約300の幅広い授業科目から学ぶことができます。

出願 第1回 2月28日(火)まで

第2回 3月1日(水)～

3月14日(火)まで

町 放送大学静岡学習センター

☎055-989-1253

ひとの動き

戸籍だより

(10月1日～31日届出)

相談

身近なこと生活相談へ

と き 1月5日(木) 10時～15時
ところ 保健福祉センター
ボランティア団体室
☎ 社会福祉協議会 ☎34-1286

介護・法律相談

と き 12月21日(水)
介護相談 10時～12時
法律相談 13時～15時
ところ 保健福祉センター 相談室
法律相談は事前に予約してください。
☎ 社会福祉協議会 ☎34-1286

日本年金機構出張相談

三島年金事務所の職員が年金制度についての質問や年金の請求、各種書類の提出などを受け付けます。電話予約が必要です。

と き 1月12日(木)
9時～12時、13時～14時
ところ 下田市役所(要予約)
☎ 下田市役所市民保健課 ☎22-3922



※このコーナーに掲載を希望しない場合は、お申し出ください。

人口と世帯

(11月1日現在)

人 口	6,761 人	前月比	(-16)
(男)	3,284 人		
(女)	3,477 人		
世帯数	3,311 世帯	前月比	(-6)

介護相談

介護に関するお問い合わせ、相談を受け付けています。

と き 月曜日～金曜日
9時～16時 随時受付
ところ サンシニア河津 相談室
☎ サンシニア河津 ☎32-3203

障害者のための就労相談会

障害のある人の就職や生活面での相談、障害のある人たちを雇用する事業主や自分らしく働ける場所を探している人の相談などに応じます。事前に予約してください。

と き 12月20日(火)
13時30分～15時30分
ところ 保健福祉センター
☎ 賀茂障害者就業・生活支援センター「わ」 ☎22-5715

お知らせ

12/4～10 第74回人権週間

「誰か」のことじゃない。

1948年(昭和23年)12月10日の国連総会で「世界人権宣言」が採択され、12月10日は「人権デー」と定められました。



法務省と全国人権擁護委員協議会は毎年12月4日から10日の1週間を「人権週間」と定め、全国で各種啓発運動を実施しています。

今なお、いじめや児童虐待、インターネット上の人権侵害、感染症や障害などを理由とする偏見や差別などさまざまな人権問題が存在しています。

これらを解決し、国連の持続可能な開発目標(SDGs)が掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するには、私たち一人一人が人権尊重の重要性を改めて認識し、他人の人権に配慮した行動を取ることが大切ではないでしょうか。この機会に人権について、もう一度考えてみませんか。

みんなの人権110番 ☎0570-003-110
子どもの人権110番 ☎0120-007-110
女性の人権ホットライン ☎0570-070-810
☎ 静岡地方法務局下田支局
下田人権擁護委員協議会 ☎22-0534
町民生活課窓口係 ☎34-1932



今井浜海岸での砂の造形大会
(NPO提供)

kawazu - jin

河津人

今年2月に設立された「NPO法人あおぞらビレッジ」の代表を務める但馬靖彦さん。

団体のコンセプトは「子どもたちを中心に伊豆の地域資源を生かした体験活動を進め、たくさんの人とつながる」というものです。また、子どもだけでなく地域の大人も自由に参加し、関わりを広げることで、皆がいきいきと輝くコミュニティを目指しています。これまでも任意団体「アースキップkawazu」として活動を行ってきましたが、もっと多くの人とつながるコミュニティにするために、NPO法人の設立に至りました。

これまでの活動は、船上からの海岸線の自然観察や、ミミズコンボストの自然農法体験、いちご農家でのイチゴ狩り、西小学校でのキャンプ、

芋掘り焼き芋、草木染、原木椎茸の菌打ち体験、今井浜での砂の造形大会、農業体験など。地元の環境を存分に感じられ、子どもはもちろん大人も一緒にワクワクするものばかりでした。地域の方たちにもたくさん協力していただいています。ほかにも紹介しきれないたくさんさんの企画があり、今後の活動も楽しみです。

但馬さんは「まだスタートしたばかりですが、地元の人たちにあおぞらビレッジのことを知ってもらい、将来は世代を超えてさまざまな地域の方からは歴史や文化などの地域資源を生かした体験活動も進めていきたい。地域の人にもっと協力していただきながら活動が広がっていくとうれしい」と目を細めて語ってくれました。

【取材】奥水 恵子さん（民間広報協力員）



NPO 法人あおぞらビレッジ 代表

但馬 靖彦さん

たじま やすひこ

田中 54歳

現役の小学校教諭として教壇に立つ側ら、休日を利用し約15人のスタッフとNPO法人あおぞらビレッジの活動を行う。息子さんの協力で作成したホームページやLINE、インスタグラムなどSNSでの情報発信を積極的に行っている。只今、運営協力スタッフを募集中。

編集後記

3年ぶりに開催された河津フラワートライアスロン。スィム・バイク・ランと町中を駆け抜ける選手を追って、私も撮影に駆け回りました。間近で目にするバイクのスピードと迫力は圧巻でした。会場の中心エリアに近い、

浜や笹原だけでなく、大堰や沢田、田中など少し離れた地区でもカメラを向ける先々で選手に温かい声援が送られ、笑顔が溢れていたことが印象的でした。来年もまたこの光景が見れることを楽しみにしています。

(C)

姉妹都市 長野県白馬村通信

「白馬村シンポジウム」を開催しました



二セコ町の片山町長による基調講演

11月25日、白馬村ウイング21ホールにて白馬村宿泊シンポジウムを開催しました。

基調講演では、2018年にSDGs未来都市に選定された二セコ町の片山町長をお招きし、「SDGsと観光・まちづくり」について講演をしていただきました。スキーブームやバブル

経済期に集中した過剰な投資を教訓に、町が目指す社会の仕組みづくりについて説明をいただき、将来を見据えた環境問題への取り組みなどを打ち出すことが良質な投資を生んでいくと説明されました。

成果発表では、「断熱 は村の未来に貢献する」「はぶく という引き算の考え」「10年後の白馬宿泊業を 築く」についてメンバーが発表し、今日をきっかけにリスタートしていきたいと発表しました。